

「また明日」と笑顔で言いたくなる学校づくり

～優しさと強さ、しなやかさとたくましさを併せもつ生徒の育成～



創校記念式&記念講演会

4月15日（土）、同窓会主催で創校記念式と記念講演会が行なわれました。蓮沼同窓会長さんの挨拶の後、南砺市地域おこし協力隊の黒崎悠太氏を講師に迎え、「人生と経験値」と題し、講演をしていただきました。時間を大事にすることが人生を大事にすることである、経験値を上げるために南砺の人にたくさん話を聞こうなどと語っていただきました。分かりやすいプレゼンや引きつけられる語りに、生徒は真剣に耳を傾けていました。



「履物を揃えると心も揃う」

履物を揃えると心も揃う

心が揃うと履物も揃う

脱ぐときに揃えておくと、履くときに心が乱れない
誰かが乱しておいたら、黙って揃えておいてあげよう
そうすればきっと、世の中の人々の心も揃うでしょう



この詩は長野市の円福寺の住職だった藤本幸邦さんがつくられた詩です。「履物を揃える」ということは、心を一つのところに集中することです。脳科学者の研究によると、脳には「側坐核」というところがあり、この部分はなかなか活動しないそうです。ところが、履物を揃えるなどの小さなことを繰り返し行うことで「側坐核」が刺激され、やる気を起こす脳内物質が分泌するそうです。履物を揃えれば心が揃い、やる気が出る。本校の生徒玄関の下足箱を見て、履物が揃っていることをうれしく思いました。

